地区排水路改修工事決まる

７会計の決算を認定

９月定例会

平成22年９月13日から22日までの日程で、９月定例議会が開催されました。出された議案は条例の一部改正、平成22年度一般会計補正予算など８件、平成21年度氷川町一般会計歳入歳出決算などの認定７件、議員提案の発議６件が審議され、議員発議の１件を除く他の案件はすべて原案の通り可決成立しました。

決定した主なもの

条例

◎氷川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

法律の改正に伴うもので、人事院規則で定める期間を基準とし、条例で定める期間を57日とする。

◎氷川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

法律の改正に伴うもので、３歳未満の子どもがある職員が養育するために休暇等を請求した場合、特別の理由がない限り勤務をさせてはならない。

補正予算

◎平成22年度氷川町一般会計補正予算（第２号）

歳入歳出それぞれ、１億１９８１万７千円

主な歳出は

○総務費

・販売戦力アドバイザー報償費　30万円

○民生費

・介護基盤緊急整備特別対策事業補助金　△３１６５万円

・宮原福祉センター浴場脱衣室他空調機修繕費　３９６万６千円

・竜北福祉センター井水加圧ポンプ修繕費他　１９８万９千円

○衛生費

・女性特有のがん検診推進事業補助金（国庫）　１５２８万円

・町道吉本本山線改良事業不動産鑑定手数料（インターチェンジ関係）１１８万５千円

・町道改良測量設計委託料（インターチェンジ関係）４７７２万円

・本山河川改修工事費　５２７万円

○教育費

・古墳調査専門員謝礼　14万２千円

・印刷製本費（大野窟調査書製本）９万３千円

○教育費

・防鳥ネット設置費（宮原体育館）48万８千円

待たれていた新田・柳の江

平成22年度一般会計補正予算
総額１億1981万円

平成21年度　氷川町一般会計他

特別会計

◎平成22年度氷川町国民健康保険特別会計補正予算（第２号）

歳入歳出それぞれ８３０万８千円を追加しました。

主な歳出は

・印刷製本費（５年間健診未受診者へ受診をお願いするもの）　25万９千円

・償還金（国庫）５０１万円

◎平成22年度氷川町下水道事業特別会計補正予算（第１号）

歳入歳出それぞれ６５１９万５千円を減額しました。

主な歳出は

・管渠実施測量設計業務委託料△５００万円

・宮原処理区長寿命化計画（管路施設）△３００万円

・管渠築造工事費△５４６８万４千円

・上水道等移設補償費　４９０万９千円

決算

◎平成21年度氷川町一般会計歳入歳出決算他、６特別会計の歳入歳出決算は、すべて認定されました。

発議

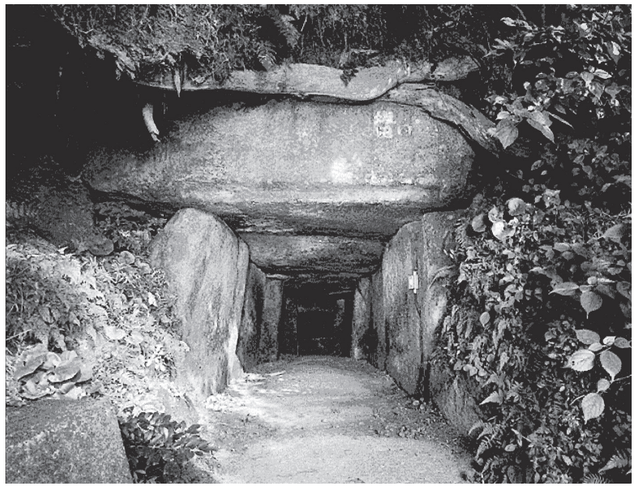
◎氷川町議会基本条例を制定

米村議員と田中議員が共同で「氷川町議会基本条例」を提案しました。

・町民に開かれた議会、町民に身近で存在感のある議会をつくることを目的としています。

告発

◎竜北公園第３期遊具工事入札に関する調査特別委員会の委員長報告を受け、浜田前町長を除く、竜北公園の入札にかかわる業者を談合等の疑いで「告発」することを決めました。



大野窟

始まった稲刈り